

山口情報芸術センター [YCAM] 教育普及プログラム

子どもたちが創造するメディア公園 「コロガルガーデン」

2016年6月18日(土) — 9月4日(日) 10:00—17:00 入場無料

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、スタジオB

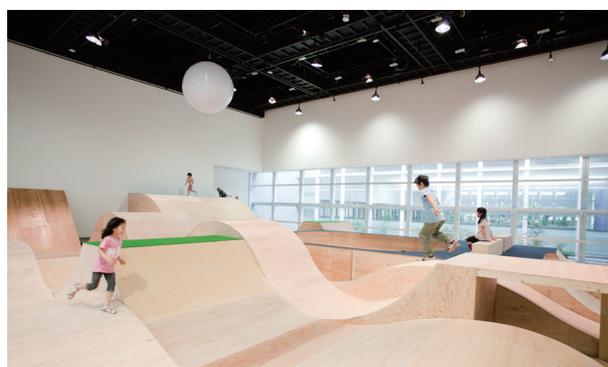
翔ぶ、跳ねる、駆け巡る！繋る、鳴らす、光らせる！**遊びながら学びを得る、子どもたちが創造するメディア公園の最新作が登場**

山口情報芸術センター [YCAM] では、大人気の「コロガル公園シリーズ」の最新バージョン「コロガルガーデン」を発表します。

メディア時代の新しい学びの場を提案するコロガル公園シリーズは、子どもたち自身が遊びを通じて考え、創造力を育む環境としてデザインされた公園です。メディアアートセンターならではの発想に基づき、不安定な床やスロープなどの物理的な環境と、サウンド・システム、カメラ、ネットワークといった情報環境が融合しており、遊びを発想する種がいたるところに散りばめられています。

2012年にYCAMで登場して以来、大変好評を博する本シリーズは、札幌国際芸術祭「コロガル公園 in ネイチャー」(2014年) や東京・伊勢丹新宿本店「コロガルガーデン for LIL KIDS」(2015年) など、全国各地で開催してきました。

今回は「コロガルガーデン for LIL KIDS」を元に大幅にアップデートしたYCAMバージョンとして登場。遊びながら考え、考えながら遊ぶというプロセスを繰り返すことで、思考の柔軟性と創造力が刺激される子どもたちの場が山口に生まれます。この機会にご参加ください。



写真(上)：2012年にYCAMで発表した「コロガル公園」の様子
写真(下)：「コロガルガーデン for LIL KIDS」(2015年／東京・伊勢丹新宿店)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

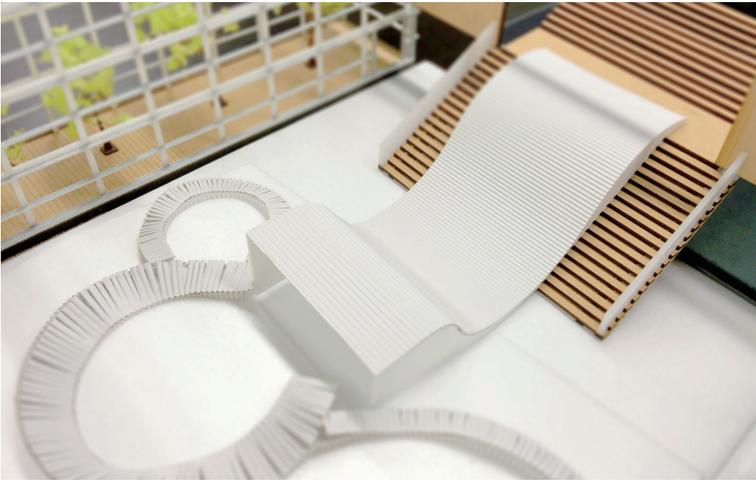
お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 メールアドレス：press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

感覚を研ぎ澄まし、創造力を刺激する—みんなの学び場「コロガルガーデン」



ホワイエの大階段に登場する「コロガルガーデン」のイメージ(完成予想図)

コロガル公園シリーズは、子どもたちが自発的に遊びを発想し、創造力を育む環境としてのデザインが高い評価を受け、これまでにグッドデザイン賞やキッズデザイン賞を受賞しています。子どもたちがトライアンドエラーを繰り返しながら、自ら遊び場の利用法を考え、実践していくということは、変化の激しい現代社会におけるコミュニティの創造/運営のトレーニングとしても機能し、ここでは遊びだけに留まらず、保守管理もおこなうなど数多くの社会的な営みが生まれています。

これからの学び場/遊び場を提案する「コロガルガーデン」

今回発表する「コロガルガーデン」は、2015年に東京で発表した「コロガルガーデン for LIL KIDS」を大幅にアップデートし、さまざまな機能を追加したYCAMバージョンです。スタジオBには、大小異なるサイズのブロック群が、ホワイエには緩やかな流線形を描く巨大な滑り台が出現します。性格の異なる2つの空間は、未就学児からご年配の方まで、幅広い年齢層が楽しむことできるようにデザインされています。設計は、2013年にYCAMが発表した「コロガルパビリオン」でも設計を手がけた建築ユニット「assistant (アシスタント)」が担当しています。

また、シリーズを通して開催する人気イベント「子どもあそびばミーティング」も開催。子どもたちを中心にYCAMスタッフとともにコロガルガーデンに追加したい機能を議論します。採用されたアイデアは、後日新しい機能として会場に追加されます。利用者自身のアイデアによって成長していくコロガルガーデンにも是非ご注目ください。

■「コロガルパビリオン」

2013年発表。大小2つの円筒形の建築から構成されており、屋外に設置されていた。設計は、建築ユニット「assistant (アシスタント)」。

2013年7月から約4ヶ月の会期中に、4万7千人ほどの子どもたちが訪れ、大盛況を博す。会期終了直前には、子どもたちの署名活動が発生し、これにより翌年、1ヶ月の期間限定で再開する。2014年には、第8回キッズデザイン賞の審査委員特別賞を受賞。

会期：2013年7月26日～12月1日、2014年8月1日～8月31日

会場：山口市中央公園

■「コロガルガーデン for LIL KIDS」

2015年発表。株式会社三越伊勢丹からの委託で、同社が展開する子ども向け教育プロジェクト「cocoiku(ココイク)」のために共同開発した。未就学児童でも体験できるようにアレンジし、伊勢丹新宿店の催事場に展開しました。

会期：2015年4月29日～5月3日

会場：東京・伊勢丹新宿本店本館6階催事場

■ assistant (アシスタント)

2002年に松原慈と有山由を中心に設立された建築家ユニット。建築、美術、デザインが交わる点に活動の多くがみられる。空間を体験や記憶の総体と捉え、フィジカルな体験に詩的な表現をかけ合わせ、建築の可能性を切り拓く。主な仕事に「ABSENT CITY: 存在しない都市」展(個展/2008年)、「"おいしく、食べる"の科学展」(日本科学未来館/2009年～2010年)、「33年目の家」(2013年)など。

<http://www.withassistant.net>

開催概要

**子どもたちが創造するメディア公園
「コロガルガーデン」**

2016年6月18日(土)―9月4日(日) 火曜日休館

10:00―17:00 入場無料

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、スタジオB

対象：未就学児童～一般 ※未就学児童は要保護者同伴

空間設計：assistant（松原慈+有山宙）

※7月11日(月)―13日(水)、8月15日(月)―17日(水)は、関連イベント「子どもあそびばミーティング」に伴うアップデート作業のため、閉場します。

※本展示はお客様の自己責任のもと鑑賞したり、遊んだりする体験型スペースです。入場の際は自己責任で入場する旨をご承認いただき、安全管理には十分ご注意ください。

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

助成：平成28年度文化庁文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

子どもあそびばミーティング

日時：7月10日(日) 14:00―15:30

8月14日(日) 14:00―15:30

参加無料 ※要申込(申込方法は右記参照)

対象：小中学生

定員：各回20名 ※先着順(空きがあれば当日受付可)

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB

利用者とともに、コロガルガーデンの新しい機能を検討するミーティング形式のイベント。

子どもあそびばミーティング
申込方法

参加を希望するイベント名とその日付・住所・名前(ふりがな)・性別・生年月日・電話番号またはメールアドレスなど連絡先を明記の上、メールまたはYCAM1階チケットインフォメーションにてお申込みください。

メールアドレス：

reserve@ycam.jp

同時開催イベント

YCAMスクールプログラム

「スポーツハッカソン for Kids」

2016年6月12日(日)・19日(日) 14:00―16:00

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

参加無料 ※要申込

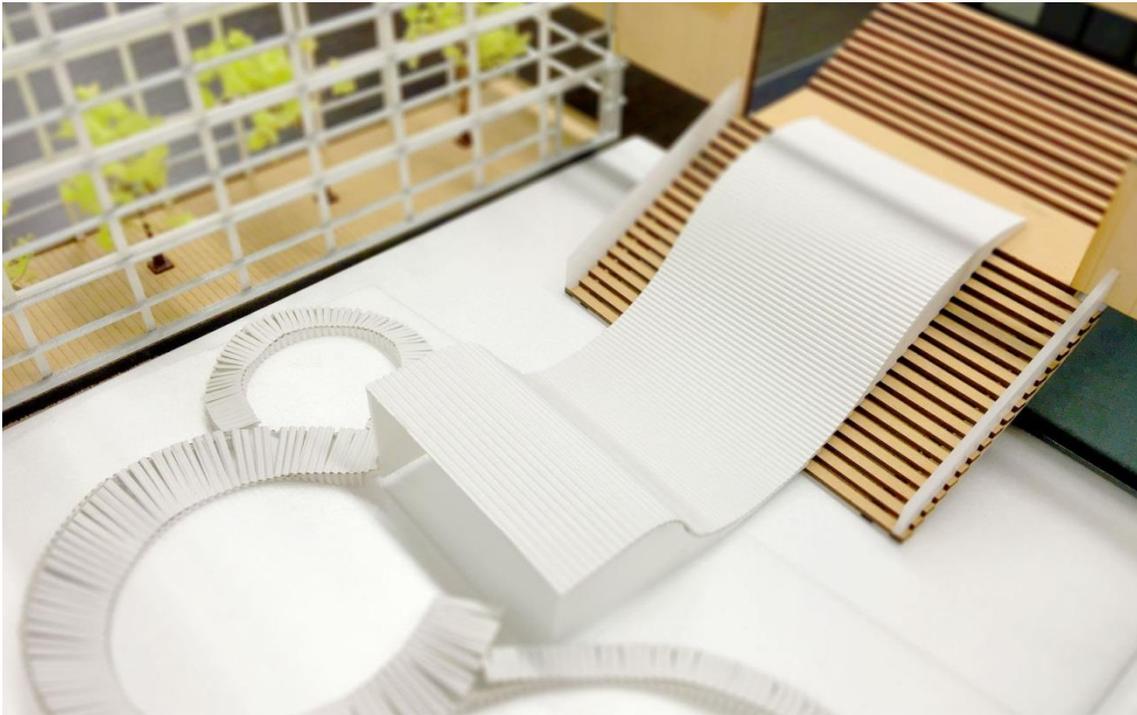
対象：小学3年生～6年生

定員：各回30人

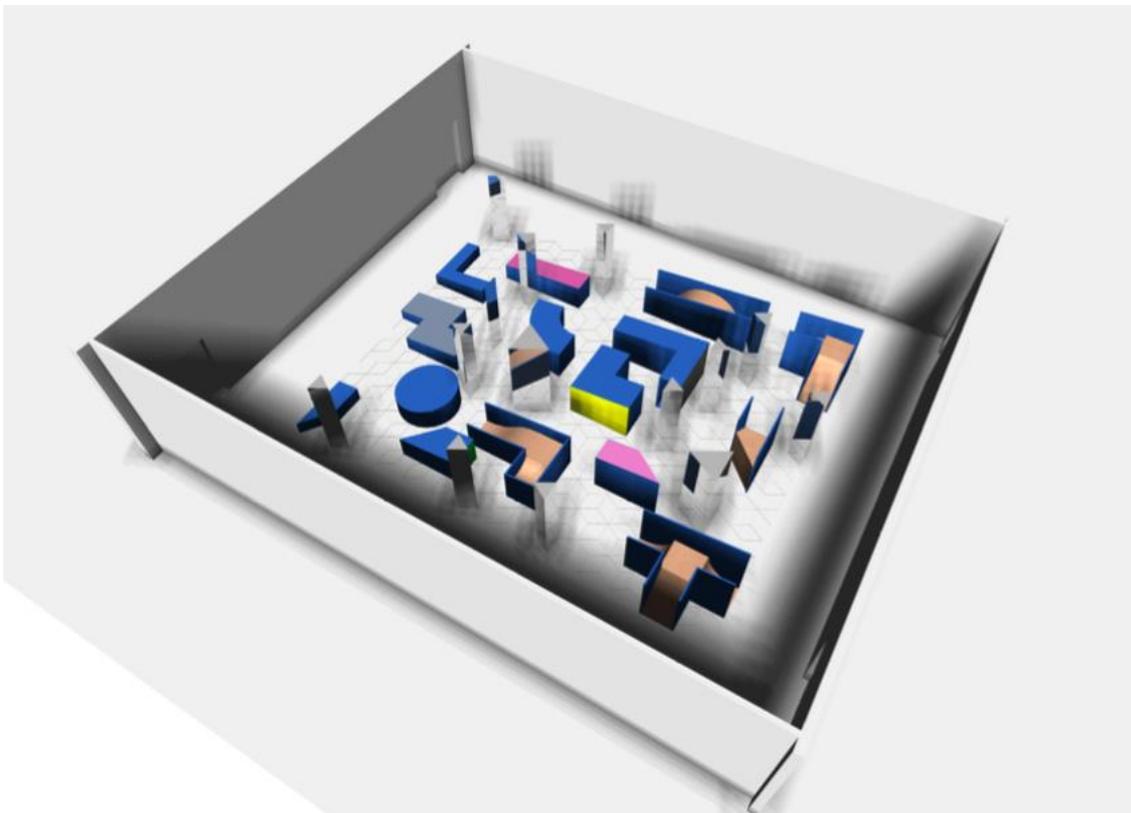


コロガルガーデン

2016年6月18日(土) - 9月4日(日) 10:00~17:00
山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、スタジオ B



ホワイエの大階段に緩やかな流線型を描く巨大な滑り台 (完成予想図)



サイズの異なるブロック郡によって構成されるスタジオ B (完成予想図)

これまでのコロガル公園シリーズ



コロガル公園 (2012/YCAM)



コロガルパビリオン (2013/YCAM)

これまでのコロガル公園シリーズ



コロガルガーデン for LIL KIDS (2015／東京・伊勢丹新宿店)

「コロガル公園」の取り組み

—— 身体 × メディア × 社会

「子どもたちが創造するメディア公園」

コロガルパビリオンは、メディアと身体を使ってめいっぱい遊べる新しい形の公園です。山の子どもが山を、海の子どもが海を知っているように、現代に生きる子どもたちにとってメディア環境の中で試行錯誤を繰り返しながら思考する場を目指しました。



コロガル公園

YCAMの教育普及活動のコンセプトを体現する屋内公園型インスタレーションとして開発。



コロガルパビリオン

自然とテクノロジーが共存した半屋外のパビリオン。建築ユニットのassistantと共同制作。



コロガル公園 in Nature

札幌国際芸術祭にて建築家の五十嵐淳氏と共同制作。札幌資料館前の森の中に設置された屋外公園。

「6つの特徴」



あたりまえの「環境」 としてのメディア

01

翔ぶ、跳ねる、駆け巡る！
送る、鳴らす、光らせる！
頭とカラダで遊びを創るメディア公園



みんなのアイデアで 成長していく あそび場

04

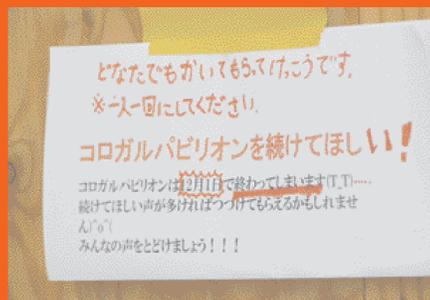
子供のアイデア×YCAMの技術で、
一緒につくっていく自分たちの場所



不安定な床面 はしる、すべる、 立ち止まる

02

建築空間のあらゆる要素が発想の種になる



自治（セルフガバナンス） が始まる時

05

自主性、自発性の育み
公園から考える社会のルールとマナー



自分で考えてみる 「安心・安全」

03

ここからジャンプするかしないか、
自分で判断する



野生の学びを デザインする

06

「メディア」「社会」「身体」
コロガル公園からみるこれからの学び場

山口から世界へ。進化するアートセンター

山口情報芸術センター[YCAM]は、2003年の開館以来、メディアテクノロジーと身体をめぐる新たな芸術表現の追求を活動の柱としてきた複合文化施設です。YCAMはアーティストが持つ構想の実現を担う専門性をもち、共同制作した作品の数々は、世界各地で評価され、巡回を続けています。作品制作で蓄積したノウハウを活かし、メディアリテラシー向上を目指した教育コンテンツの研究開発にも力を入れています。



「コロガル公園シリーズ」基礎資料

開催概要

企画名：コロガルガーデン

開催期間：2016年6月18日（土）～9月4日（日）

会場：山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、スタジオ B

入場見込数：10,000 人

これまでの開催実績

■ 平成 24 年（2012 年）

コロガル公園

開催期間：5月19日～8月12日 全85日間

会場：山口情報芸術センター [YCAM]

入場者数：37,170 人

■ 平成 25 年（2013 年）

コロガルパビリオン（YCAM10周年記念祭）

開催期間：7月26日～12月1日 全128日間

会場：山口市中央公園

入場者数：47,077 人

■ 平成 26 年（2014 年）

コロガルパビリオン ※2013年度の署名活動により期間限定で復活

開催期間：8月1日～8月31日 全30日間

会場：山口市中央公園

入場者数：16,466 人

☆コロガル公園 in ネイチャー ※札幌国際芸術祭 2014 にて開催

開催期間：7月19日～9月28日 全71日間

会場：札幌市資料館

入場者数：80,955 人（※同会場で開催していた深澤孝史《とくいの銀行 札幌、SIAF2014 アクティビティ拠点プロジェクトの来場者数を含む）

■ 平成 27 年（2015 年）

☆コロガルガーデン for LIL KIDS

開催期間：4 月 29 日～5 月 3 日 全 4 日間

会場：伊勢丹新宿本店本館

入場者数：356 人

☆は県外での開催実績

署名活動の経緯

2013 年、約 4 ヶ月間の会期中に 4 万 7 千人ほどの人々が訪れ、大盛況を博したコロガルパビリオン。

会期終了 2 週間前に、利用者の中で会期延長を求める声が強くなり、子どもたちを中心に署名運動がスタートしました。周囲の大人も巻き込みながら、2 週間あまりで約 1000 人の利用者から署名を集めることに成功し、YCAM へと提出。

山口市も子どもたちの思いを認め、2013 年の 8 月から 1 ヶ月の期間限定で再開をすることになりました。

受賞歴

☆ キッズデザイン賞 奨励賞・特別賞 受賞

受賞年度：2014 年度（第 8 回）

受賞カテゴリー：感性・創造性部門

受賞理由：メディア+身体性の基本をきちんと押さえた空間とメディアワークショップの複合的な提案で、極めて洗練されたプログラム内容と必要十分な空間の活かし方が心地よい君間が評価されました。

☆ グッドデザイン賞

受賞年度；2014 年度

受賞カテゴリー：公共向けの活動・取り組み、社会貢献活動

受賞理由：参加する子供たちの自主的な関わりを促し、誘発しているデザインが評価されました。